



<取材のお願い>

2023年3月1日

北海道札幌啓成高等学校

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

さくらサイエンスプログラム推進本部

北海道札幌啓成高がインドとオーストラリアの高校生を招き科学交流

～将来的な国際頭脳循環を目指して～

北海道札幌啓成高等学校では3月6日（月）～3月12日（日）、シティモンテッソリースクール（インド）から高校生11名と教員1名、マレーニー州立高等学校（オーストラリア）から高校生4名と教員1名、計17名を招き、科学技術体験交流プログラムを行います。来日するのはいずれも学内での成績のほか、本校との協働プロジェクトへの取り組み姿勢や、日本への関心の高さなどから総合的に選抜された、優秀な生徒たちです。

本校は、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定され、2017年から「北海道インターナショナルサイエンスフェア（HISF）」を開催し、オンラインを効果的に活用しながら海外の高校生と地球規模の課題解決に向けて協働でフォーラムを作り上げるなどの取り組みを積極的に行ってきました。しかし、コロナ禍の影響で、海外の高校生たちと対面での継続的な科学交流にはまだ至っていません。本プログラムは、入国制限が緩和された今、満を持して行われます。

本プログラムでは招へい者たちが本校の生徒たちとともに授業を体験するほか、北海道大学を訪問し、ロケットの無火薬・小型化を実現する「CAMUI型ハイブリッドロケット」の研究開発や、生命現象の特徴について数理モデルで解き明かす研究について学びます。また、期間中に開催される HISF では、①ポスター発表、②サイエンスチャレンジ、③研究者によるミニレクチャーなど、様々なイベントを通して、道内の意欲ある高校生たちとの交流を深めます。本プログラムにより、招へい者と道内の高校生が互いに刺激を受けながらネットワークを形成することで、将来的な頭脳循環に貢献することが期待できます。

本プログラムは科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」*に採択されたものです。

*「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」

科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。



<https://ssp.jst.go.jp/>



つきましては、本学での授業体験の様子、北海道大学訪問の様子、北海道国際サイエンスフェアの様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。なお、参加者をはじめ、実施担当の大島寿美教諭へのインタビュー取材もアレンジが可能です。ご希望の方は担当者までご連絡ください。

【実施内容】

- 啓成高校での体験学習 ●北海道大学訪問
- HISF 参加（課題研究ポスター発表会、サイエンスチャレンジ）

【研修日程概要】

- | | | |
|----------|----|----------------------------|
| 3月6日（月） | 午後 | 新千歳空港着、オリエンテーション |
| 3月7日（火） | 終日 | 啓成高校での授業体験、文化交流 |
| 3月8日（水） | 午前 | 北海道大学大学院工学院宇宙環境システム工学研究室訪問 |
| | 午後 | 北海道大学電子科学研究所訪問 |
| 3月9日（木） | 午前 | （HOKKAIDO サイエンスフェスティバル） |
| | 午後 | HISF 課題研究ポスター発表会 |
| 3月10日（金） | 終日 | HISF サイエンスチャレンジ、ミニレクチャー |
| 3月11日（土） | 午前 | 札幌円山動物園見学 |
| | 午後 | 札幌市内見学 |
| 3月12日（日） | 午前 | インド高校生離日、午後 オーストラリア高校生離日 |

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

北海道札幌啓成高等学校
担当：教頭 酒井貞彦

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室
（担当：田中(禎)、太田）